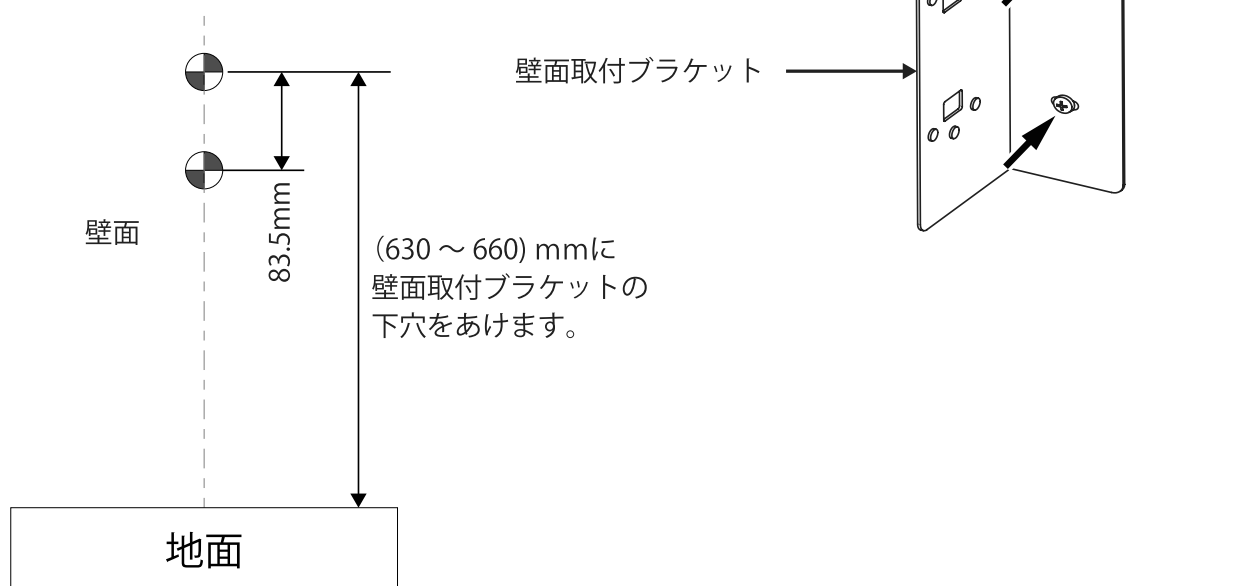


5.1.2. 壁面取付け

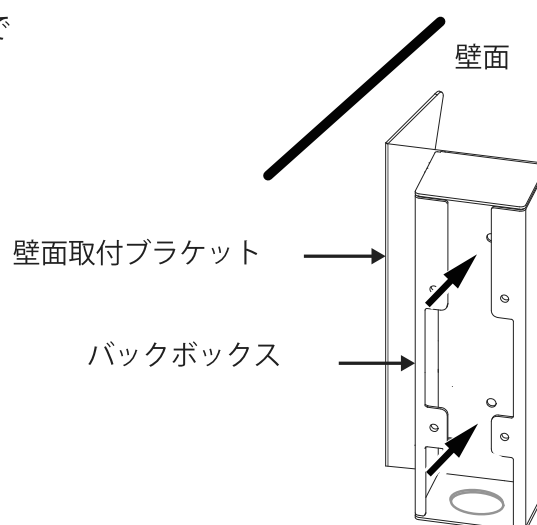
! 注意

❶ 電動ドライバは使用しないでください。ねじが焼き付く可能性があります。

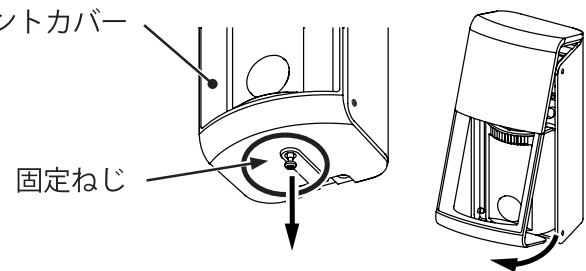
- ① 壁面取付ブラケット (DS-002) を壁面にねじで仮止めします。
 ※ 壁面取付用のねじは壁の材質に合わせて呼び径 4 のタッピン
 ねじをご用意ください。
 タッピンねじの種類、取付面の材質や板厚等に合わせて下穴を
 あけてからタッピンねじで取付けてください。



- ② 壁面取付ブラケット付属の座金組込みねじ (M4x12) で
 バックボックスを壁面取付ブラケットに
 2 点ねじ止めします。



- ③フロントカバー下部の固定ねじをゆるめ、フロントカバーを外します。
 ※ねじをゆるめ過ぎますと、ねじが落下しますのでご注意ください。
 ※ねじを紛失したときは、十字穴付き小ねじ (M3x10) をご用意ください。

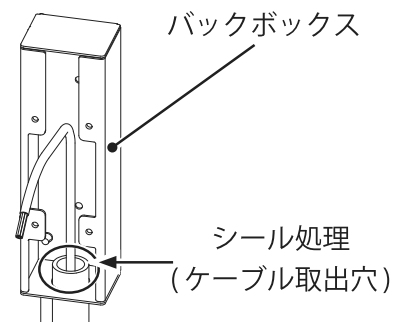


- ④センサ本体を外します。



- ⑤バックボックス下面のケーブル取出穴 (Φ 22) に、PF 管コネクタ / 電線管コネクタ等を取付けます。
 次にケーブル取出穴からケーブルを入線します。

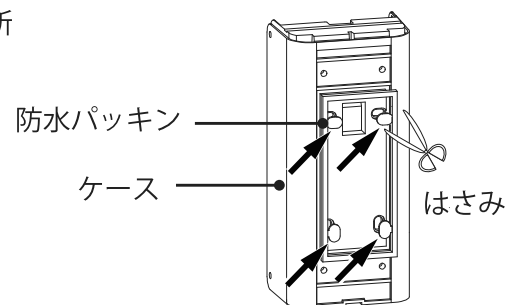
※ PF 管コネクタ / 電線管コネクタ等は、ご使用になる配管 / 電線管 (金属・樹脂) に合わせて、ご用意ください。



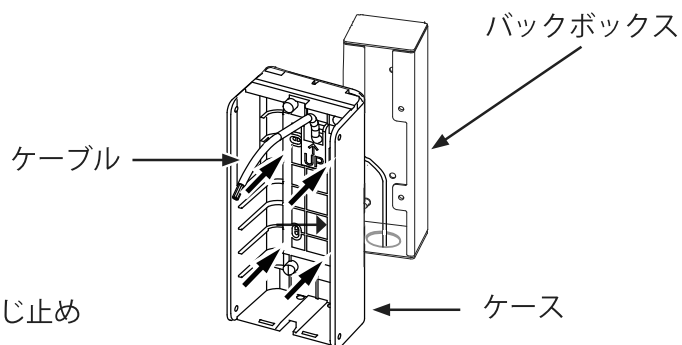
⚠ 注意

- ❶ 配管 / 電線管への浸水を防ぐため、ケーブル取出穴は必ずシール処理をしてください。

- ⑥ケース背面の防水パッキンのねじ穴部を 4 箇所はさみで切り取ります。



- ⑦ ケース背面からケーブルを配線し、
ケースをバックボックスに固定します。



付属の座金組込みねじ (M4x12) で4箇所ねじ止め
します。

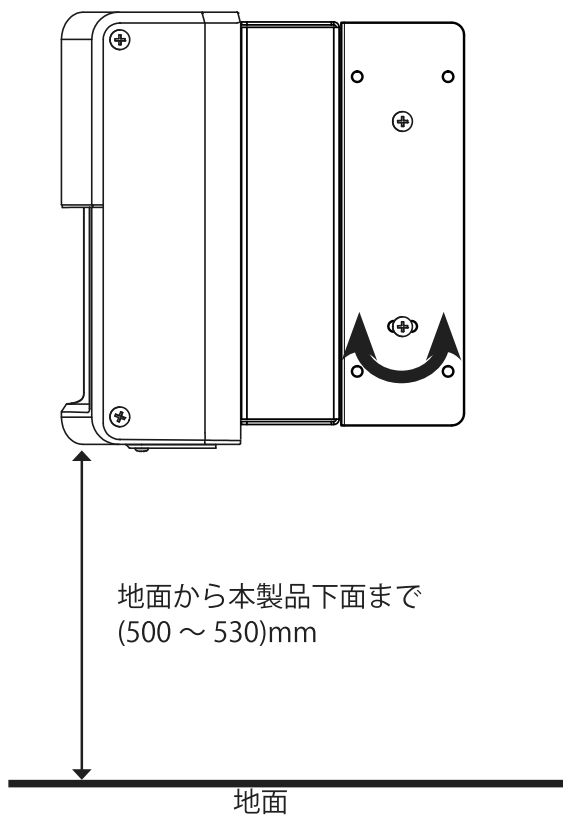


座金組込みねじ
(M4x12)

推奨締付トルク
0.4N・m

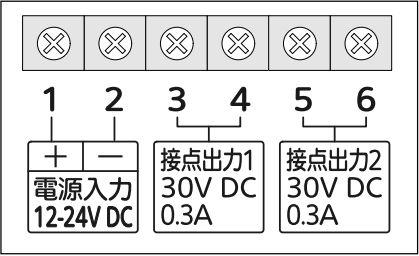
- ⑧ 本製品の設置高さを調整します。

本製品の設置高さ (地面から本製品下面) が (500 ~ 530)mm になるように調整し、壁面取付ブラケットのねじを締め付けます。

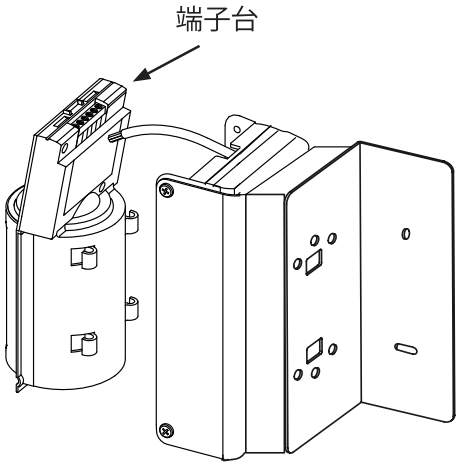


⑨端子台にケーブルを接続します。

DS03 端子台

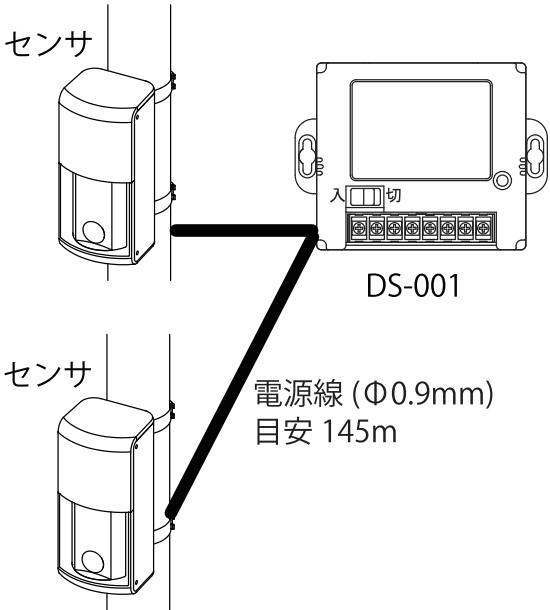


端子番号	配列名	内容
1・2	電源入力	DC12V～DC24V
3・4	接点出力1	無電圧出力 N.O./N.C. 切替可能 DC30V 0.3A (抵抗負荷)
5・6	接点出力2	無電圧出力 N.O./N.C. 切替可能 DC30V 0.3A (抵抗負荷)



【適合電線】

単線 : 0.5～1.2mm (AWG26～AWG16)
より線 : 0.3～2.0mm² (AWG22～AWG14)
電線のストリップ寸法は5～6mmにしてください。
シース(ケーブルの外皮)は、0.8mm以内のケーブルを
ご使用ください。



●センサ・電源間の最長配線距離(目安)

線径	最長配線距離
Φ 0.65mm	150m
Φ 0.9mm	290m
Φ 1.2mm	510m

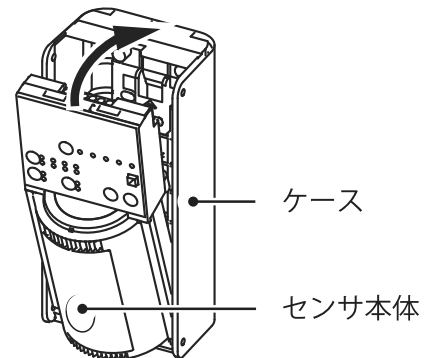
電圧 DC24V

同一配線上にセンサを2台以上接続する場合は、
最長配線距離を接続台数で割った距離になります。

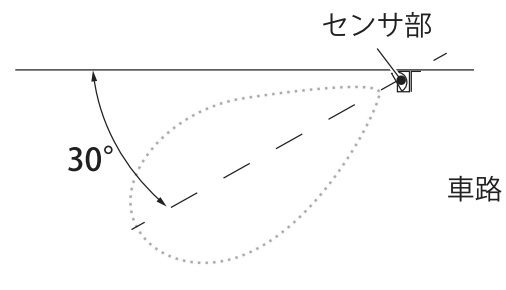
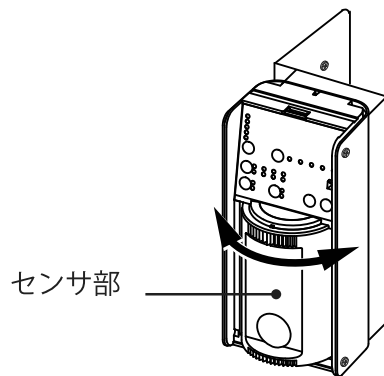
左図の場合 DS-001 にセンサ2台接続しますので、
145m (290 割る 2 台) を目安に設置してください。

- ⑩ センサ本体をケースに収めます。

このとき、余分に引き出した配線はバックボックス側に押し戻してください。

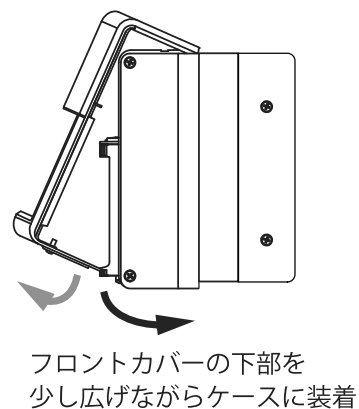
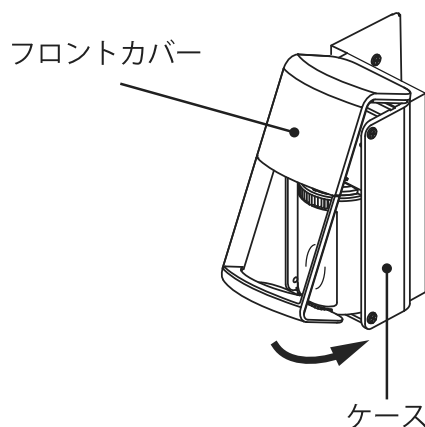


- ⑪ センサ部の正面が車路と 30° になるように、センサ部を回転させて角度を調整してください。
5° 刻みで左右 30° の調整が可能です。下図を参照にしてください。



- ⑫ 32 ～ 37 ページの「5.3. 基本設定」「5.4. 自動補正」「5.5. 検知エリア確認」をおこないます。

- ⑬ フロントカバーの上部をケースにかけ、フロントカバーを少し広げるようにして装着します。



- ⑭ フロントカバー下部の固定ネジを締め付けます。

